

令和2年10月25日執行 富山県知事選挙公報

富山県選挙管理委員会

「すぐやる」と「知事になったら」

① 子どもに寄り添う富山県にします

- 18歳までの医療費無料化をめざします
- 少人数学級にします
- 子どもの権利条例をつくります
- 不登校の子どもたちのフォローをします

② 高齢になっても安心な富山県にします

- 医療・介護・買い物難民をなくします
- 子ども食堂・だれでも食堂を支援します
- NPOとの協働による地域づくりをすすめます

③ 災害時にも強い富山県にします

- 必要な人へのPCR検査を実施します
- 介護・保育・医療従事者の待遇アップを行います
- DVや虐待から身を守るシェルターをつくります



無所属
いのちを支え合う県民の会

かわぶち映子
えいこ

かわぶち映子は、動きます！

世界中の被災地をこの目で見てきました。まちの課題はどこにあるのか？それは、災害が起きた時にハッキリとわかります。どの地域でも、子どもや女性、障がい者、高齢者などが深刻な状況に陥りやすいということでした。

「いのちと暮らしを支えること」が、県政のしごとです。

まっさきに取り組むべきことは、社会的弱者が安心して暮らせる仕組みづくりです。私はそのために、すぐに動きます。



略歴：富山市生まれ 71歳
北陸学院短期大学 保育科卒業
NGOアジア子どもの夢代表
公益財団法人富山YMCA 評議員
富山県社会福祉協議会評議員

変えていこう！ 新しい富山へ。

民間出身 + 実現力で選ぶなら **新田はちろう**

富山で生まれ、富山で育ち、家族とともに富山で暮らす私、新田はちろうは民間企業の当たり前を取り入れ、将来世代に責任を持つ政治を行い、一人ひとりが夢にチャレンジできる、県民が主役のワクワクする富山県を「ワンチームとやま」で実現します！



無所属
新田はちろう
にっただ

富山を前に進める具体策 「北陸の十字路構想」重点政策(部抜粋)

- 経済対策**
- **スピード**: すべての助成金・給付金・支援金制度等をオンライン申請可能に
 - **令和のニューディール**: 公共インフラの老朽化・防災対策の前倒しによるコロナ経済対策
 - **経済支援**: 中小企業再建支援金の創設、新型コロナ対策農林漁業者応援事業の検討
 - **海外展開**: アメリカ・オレゴン州などの姉妹州との経済協定の推進、アジア圏への販路拡大支援
 - **ベンチャー**: 「とやまベンチャービジネス支援協議会」の設立

- 少子化対策**
- **女性活躍**: 県庁商工労働部に女性活躍を推進する「ウーマノミクス課」を設置
 - **女性登用**: 副知事3名体制と女性副知事の登用
 - **民間推進**: 女性管理職比率を官民含む全県で全国平均まで引き上げ
 - **子育て支援**: ワンストップ子育て相談窓口「ネウボラ」の全県展開
 - **子育て環境**: 病児保育もできる「こども病院」の設置

- 医療・福祉**
- **病院連携**: 複数の医療機関が連携できる「地域医療連携推進法人」設立支援事業の検討
 - **地域医療**: 医師不足に直面する県内医療機関を支援する「とやま地域医療連携ネットワーク(仮称)」の構築
 - **遠隔医療**: ICTを活用した遠隔医療の提供体制の拡充
 - **データ活用**: 「ヘルスケア次世代情報基盤」事業による国保・介護データの一元管理
 - **規制緩和**: 富山版「医療・介護テクノロジー・サンドボックス」による介護職員の負担軽減技術の実証・導入

富山を前に進める
八十八項目からなる
政策集はホームページ
でご覧ください。



【プロフィール】昭和33年8月27日、富山市千石町生まれ。富山高校、一橋大学経済学部卒業後、第一勧業銀行(現 みずほ銀行)勤務を経て、昭和58年に日本海ガスに入社。平成10年に日本青年会議所会頭(第47代)就任。平成12年には日本海ガス社長に就任。以来20年間、経営者として数々の社内改革を実現。

令和2年10月25日執行 富山県知事選挙公報

富山県選挙管理委員会

みんなで作ろう
つよく、やさしいとやま
投票日
10月25日(日)

◎投票時間

投票できる時間は、午前7時から午後8時までです。
ただし、一部の投票所では、これと異なっていることがありますから、入場券などで確かめてください。

◎期日前投票制度

仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど、投票日に投票することができない方や混雑を避けたい方は、事前に投票ができます。
くわしくは、市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

安心して投票にお越しく下さい。(各投票所における新型コロナウイルス感染防止策)

詳細は特設WEBサイトからもご覧頂けます。


 マスク着用
 アルコール消毒液の設置
 記載台・鉛筆の消毒
 定期的な換気

富山県民を、守り抜く。 さらなる飛躍に向けて挑戦。

新型コロナから、 県民の命・健康と暮らしを守り抜く

- PCR検査の一日最大1,500件(インフルエンザの流行にも備えた最大件数)体制の早期実現
- 入院病床最大500床確保、地域の身近な医療機関(小学校区単位など)での検査体制整備
- 小学生までのインフルエンザ予防接種への費用助成(全都道府県で初)
- 新型コロナ対応資金(3年間実質無利子・無担保)による中小・小規模企業の資金繰り支援
- ひとり親家庭への経済的な支援(県農林水産品等の購入・子ども食堂への支援)
- コロナによる税収の大幅減など、県財政の難局を長年の知識・経験で克服



無所属

いしい
石井たかかず

昭和二十年富山市西町生まれ。富山中部高校・東京大学法学部卒業後、自治省に入り、北九州市や静岡県を経て、総務省自治税務局長、消防庁長官を歴任。平成十六年富山県知事に就任。(三年間、早稲田大学大学院客員教授)

- 約束1** DIX(デジタル革命)の推進による東京一極集中の是正、先端技術による力強い産業の育成
- 約束2** 北陸新幹線の早期大阪延伸と15市町村の均衡ある発展
- 約束3** 「雄大な立山黒部」と「美しい富山湾」の世界ブランド化
- 約束4** 「働き方改革」と「女性活躍」の実現、全国一の幸福県へ
- 約束5** 夢・情熱・志で「日本一の人づくり県」に



詳しくは後援会のホームページをご覧ください。www.ryuzankai.jp